

会議結果報告書

平成31年3月12日

会議の名称	志木市文化財保護審議会
開催日時	平成31年2月14日(木) 午後3時～5時40分
開催場所	志木市役所 2階 201会議室
出席委員	井上國夫委員、高橋豊委員、深瀬克委員、上野守嘉委員 新田泰男委員 (計 5人)
欠席委員	なし (計 人)
説明員職氏名	生涯学習課 原田課長、武井主査、大久保主任 (計 3人)
議 題	(1) 平成30年度文化財保護事業の進捗について (2) 今後保護をすすめるべき文化財について (3) その他
結 果	(1) について審議した結果、継続的に保護をすすめることとした。 (2) について審議した結果、承認された。 (3) について協議した。 (傍聴者 0人)
事務局職員	生涯学習課 原田課長、武井主査、大久保主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

(1)) 平成30年度文化財保護事業の進捗について

<説明員>

平成30年度文化財保護関係事業について資料により説明。

<質疑応答等>

1 富士山の歴史と文化講演会について

委員) 富士山の歴史と文化講演会について、参加者は何人か。

事務局) 46人です。

2 寄贈された文化財について

委員) 寄贈された文化財について、何点で、どこに保管しているのか。

事務局) 古文書4,469点写真214点考古資料23点で、埋蔵文化財保管センターに保管している。

委員) 今後も展示の機会を作ってほしい。

委員) 市史編さん室で作成した文書目録と現物を照らし合わせるべき。大きな課題だがやるべきことである。

事務局) 課題として受け止めさせていただく。

3 無形民俗文化財の披露 質疑なし

4 254バイパス関係について

委員) 254バイパスの工事に関係する文化財について、大小合併門樋について、上流と下流と両方残らないと意味がない。

委員) 樋門について、早く指定したほうがいいのではないか。

昔は近代化遺産はないがしろにされていたが、今はアピールしていくべき。籠嶋門樋も、ゲートの工事によって字が見えにくくなってしまった。早め早めに審議会として提案していくべきである。

会長) 大小合併門樋について、どんな工事をするか図がないとよくわからない。文化財保存を考えて、進めてもらいたい。

事務局) 254関係については、現在はまだ、朝霞県土事務所から案を提案され、方向性を検討している段階のため、会議の資料にできるものはありません。

委員) 樋門を指定するという動きをするべきである。水との戦いは、宗岡のセールスポイントであり、4つの樋門に価値がある。文化財保護審議会としてバックアップしていくべきである。

委員) 県の文化資源課の力を借りてはどうか。

会長) 点でなく面として文化財を保護するという考え方になってきている。水との戦いということで、水塚なども総合的に考えてはどうか。

委員) 今後の進め方として、県がこのようにしましたということにならないように。

事務局) 担当課の都市計画課とのスケジュールで個別対応となるが、市の考え方を示していく。

委員) 樋門は市が持っているのか。

事務局) そうです。防災上必要な排水計画との関係、文化財としての姿勢を示していく。

委員) 半年後に決まったことを報告というのでは困る。

委員) 検討する場を設けてほしい。

委員) 市の指定文化財でないから保護しないという論法では困る。

委員) 東上線の煉瓦橋脚の志木駅側のものは無くなってしまった。民間のものは難しいだろうが、市のものは守っていくべき。

委員) 建造物を残して、建築を知る材料としてほしい。

会長) 何かあったら、すぐに連絡して欲しい。

委員) どんな保存の方法があるか。

委員) こういう保存をしてほしいと言っていくべき。

会長) 移設について、費用を朝霞県土が出さないで、市で負担すべきとにならないのか。移設の可能性はあるのか。

委員) いろは樋のポケットパークのように、県がやってくれるとよい。

委員) 川表だけ残って、裏がなくなら、そろって移設の方がいいのかもしれない。

委員) 強く要望していると伝えてほしい。

会長) 壊されたら困ります。

委員) その都度情報をいただきたい。

委員) 面として文化財をとらえていくという考え方ということか。

会長) そうです。

委員) 水塚はどんどんなくなっていく。

委員) 面で考えると関連の中でとらえられる。

委員) 面でとらえたときに、新田塚樋もいっしょに捉えるべきでは。新田塚樋は、どこのものか。

事務局) 市のものと思う。

委員) 保存すべき文化財のリストの樋門を4つにすべき。

事務局) 次の議題で合わせて検討お願いします。

5 埋蔵文化財の保護について

委員) 254バイパスに伴う発掘調査は、市教育委員会が行うのか。

事務局) 試掘を埼玉県教育委員会が行い、発掘調査は県事業団が行う。

委員) 発掘調査で見つかって遺跡の名前がつくということだが、空白のところも何か見つかりと遺跡が増えるということか。

事務局) 県が試掘して変わっていく可能性はある。

会 長) 中宗岡は空白、出てくる場合は十分ある。254バイパスを作ることで、鎌倉街道の跡が出てくるかもしれない。

6 田子山富士塚について

会 長) 管理台帳について、御胎内の図面を入れてどの部分が落ちているか表示して欲しい。

会 長) 国指定の流れはどうか。

委 員) 保存会の希望として国指定の範囲を玉垣の中を希望すると伝えた。玉垣の外の4点の石造物は対象外なので、市の指定にできないかと考えている。

委 員) 県指定の範囲はどうか。

事務局) 富士塚1基であり、玉垣の中をイメージしている。

7 一里塚について

委 員) 一里塚の説明板の内容が古い

事務局) 説明板の字が見えなくなって修理するときに、内容の見直しを行う予定。

8 ハタザクラの柵の修繕について

委 員) 木が大きくなって、旗の立っている花が見づらくなっているようだが。

事務局) 木の根元から出ている枝は、下の方に花が付く。また、市民の木は、数年に一度剪定しているので、あまり高くないところに花が付くので、旗弁を見ることができる。

(2) 今後保護をすすめるべき文化財について

<説明員>

今後保護をすすめるべき文化財について説明。

<質疑応答等>

委 員) 絵馬を取り組もうという話が毎年出ているが、なかなか取りかかっているが。

事務局) 田子山富士塚保存修理事業に力を入れてきたため、結果として、絵馬が後回しになってしまった。

委 員) 絵馬は取り組みやすい、所在を確認し、指定について専門家に見てもらおう。専門家は誰に頼めるか。

委 員) 絵馬は、文化財集にあるもので、現在ないものもある。

会 長) 次回の、新年度の会議で日程を決めていく。

事務局) 先ほど提案のあった新田塚樋も候補として入れる。

(3) その他

委 員) ルストホフの崖の入口に「保護地区 志木市志木富士 環境緑地保護地区 指定年月日 昭和48年2月27日」という表示がある。志木富士

を田子山富士に統一したほうが良いのではないか。

事務局) 確認してみます。

委員) 議会だよりに、郷土資料館の複合化の議論が載っていたが。

事務局) 公共施設適正配置計画にもとづき検討していく。

委員) 新羅郡について、志木ももっとアピールしたほうが良いのでは。

委員) 志木市は、文化財を担当する職員は減るし、文化財についての予算が少ないという印象。ゆっくり教育長にも話を聞いてもらえたら、伝わると思うので、ぜひ教育長に会議に出席していただきたい。

事務局) 教育長の日程が合えば可能と思う。

会長) 建議書を出しており、回答いただければ。

会長) 文化財セキュリティ研修について、公文書の対策についてであり、市役所の職員が出るべき内容だった。

事務局) 研修については、なるべく出るよう対応するようにします。

委員) 三芳町は古文書修理の場所がある。いろんな努力をしている。予算がついて人がいる。志木市は、これでいいのか。

委員) 昨年度預かった文書の整理も計画的にすすめるべき。

事務局) 来年度資料整理を予算化しており、その中で対応する予定。

委員) 旧福祉センターの敷地の隅にあった石碑が天神社に移される所。経過は知っているか。

事務局) 工事の前に相談があり、「もとの場所にそのままにし、お参りできるようにする。」と聞いている。確認してみます。

4 報告事項

郷土資料館ひなまつりについて

富士吉田市史のいろは遊学図書館の所蔵について

5 閉会